

## 配合飼料価格上昇対応生産性向上にかかる取組の強化について

## 1 趣旨

家畜の生産性向上については、「配合飼料価格上昇対応生産性向上推進会議」において、本年4月に策定した行動計画に基づき、取り組んでいるところであるが、配合飼料価格は4月以降も上昇しており、一層の取り組みの強化が必要である。

特に、飼養技術等の指導、普及・啓発については、関係機関・団体が連携して取り組むことが重要である。

## 2 対応の強化について

## (1) 生産性向上推進強化月間の設置

家畜の生産性向上を協力を推進するため、10月から12月の間を「生産性向上推進強化月間」と位置づけ、取組の強化を図る。具体的には以下のとおり。

## ① 各都道府県に設置している「相談窓口」の対応の強化

各都道府県に設置している相談窓口について、生産者等がより気軽に相談できるよう、家畜市場やイベント等において「移動相談窓口」を設置するなど、その機能の強化。

## ② 関係機関・団体等が連携し地域での生産者等への巡回の取組の強化。

## ③ 地域の生産者を対象とした飼養技術検討会、勉強会等の集中開催の実施

## ④ 各道府県で設置しているモデル地域の取組の一層の強化

## (2) 強化月間の取組、普及すべき飼養技術等を掲載したリーフレットの作成・配布

(10万部程度)【県畜産会等を活用し生産者まで配布することを想定】

## (3) グリーンチャンネルを活用した、生産性向上対策に関する番組の作製・放送及

びDVDでの配布(2000枚程度)【県畜産会・団体等に配布し、地域勉強会等で利用するなど生産性向上の取組に活用することを想定】

# 配合飼料価格上昇に対応した家畜の生産性向上に向けた平成20年度行動計画

## 家畜の生産性向上

### 目標

#### 項目

#### 対応方向

飼養技術等の普及

関係者が一体となった家畜の生産性向上の推進

配合飼料価格上昇に対処可能な飼養技術等の普及

#### 全国段階

- 全国生産性向上推進会議
  - ・定期的な取組の点検及び成果の紹介

#### ブロック段階

- ブロック会議等
  - ・推進会議、現地検討会等の開催

#### 都道府県段階

- モデル地域の設定(全国で50ヶ所以上を設定)
  - ・各都道府県で1ヶ所以上のモデル地域を設定し、取組を強化  
(各畜種毎に、乳用牛:15ヶ所、肉用牛20ヶ所、豚10ヶ所、鶏5ヶ所以上を目標)

#### 取組の内容

##### 地域勉強会の開催

- ・生産者等を対象とした飼養管理技術等勉強会の開催

##### 農家個別指導の実施

- ・相談員等が生産者を個別に訪問する等し、生産性向上を助言・指導

##### 相談窓口の設置

- ・都道府県段階で相談窓口を設置し、生産者等からの相談に的確に対処

##### 先行事例の調査・分析

- ・既に家畜の生産性向上に取り組んでいる事例を調査・分析し、紹介

##### 啓発資料等の作成・配布、ホームページへの掲載

- ・家畜の生産性向上にかかる飼養技術等に関する啓発資料等を作成・配布

# 配合飼料価格上昇に対応した家畜の生産性向上のための平成20年度行動計画

## 家畜の生産性向上

### 目標

#### 項目

#### 対応方向

家畜改良  
の促進

関係者が一体  
となった家畜改  
良の推進

#### 全国段階

- 各畜種ごとの改良増殖にかかる技術検討会、研修会、勉強会等の実施
  - 各畜種ごとの遺伝的能力評価値の公表予定
- |     |                             |      |   |            |      |
|-----|-----------------------------|------|---|------------|------|
| 乳用牛 | ホルスタイン種                     | :年3回 | 、 | ジャージー種     | :年2回 |
| 肉用牛 | 黒毛和種                        | :年1回 | 、 | 日本短角種・褐毛和種 | :年1回 |
| 豚   | バークシャー、ラントレース、大ヨークシャー、デュロック | :年4回 |   |            |      |

## 未活用資源の飼料化促進

### 対応方向

### 目標

未活用等資源の  
飼料化促進

#### DDGS

- DDGSの利活用に関する検討委員会を開催するとともに、配合設計の検討等を行い、一層の利用拡大を推進

#### 飼料用米

- 飼料用米の利活用に関する検討委員会の開催や現地実態調査を実施するとともに、モデル実証を全国的に推進

## 配合飼料価格の上昇に対応した家畜の生産性向上に関する取組

【乳用牛】

区分	地域	主な技術	主な取組概要
飼養管理	新潟、奈良、兵庫、鳥取、島根、徳島、佐賀、大分、沖縄	牛群検定	牛群検定情報を活用した飼養技術向上対策 高能力牛の保留・淘汰による平均乳量の増加 飼料の給与回数の増加と牛舎環境管理
飼養管理	北海道、福島、兵庫、岡山、福岡、熊本、千葉	カウコンフォート暑熱対策	飼養環境の改善によるストレスの軽減 トンネル換気方式牛舎利用による夏期の乳増産を実現 送風扇、細霧冷房による牛舎環境の改善
衛生	茨城、神奈川、奈良、富山、香川、	衛生指導	体細胞数及び細菌数の低減による乳質改善 導入子牛の疾病予防策への取組 乳房炎発生予防に対する技術指導
飼養管理	宮城、福島、茨城、千葉、長野、静岡、岐阜、大阪、岡山、山口、滋賀、和歌山、佐賀	飼養・繁殖指導	研修会や地域勉強会等の開催 分娩前及び泌乳後期の過肥防止のための繁殖指導 低受胎酪農家における繁殖性向上に対する指導 関係団体と連携し繁殖・飼養管理等にかかる巡回指導等 血液検査データを活用した飼料給与量や飼養管理等の改善
飼養管理	福岡、大分、兵庫	自動給餌機	自動給餌機導入による生産性向上
飼養管理	宮城、奈良、岡山、熊本、広島	受精卵移植	乳牛を利用した和牛受精卵の採卵・移植で肥育素牛の生産
飼養管理	山形、香川、大分、広島	搾乳ロボット	搾乳ロボットによる省力管理
飼養管理	佐賀、大分	飼料増産	「購入飼料に依存しない酪農経営」を実践 転作田への飼料作物等の作付け
飼養管理	福岡	ほ乳ロボット	和牛繁殖複合経営の確立
繁殖	静岡	発情発見システム	発情発見システムによる発情発見率の向上

【肉用牛】

区分	地域	主な技術	主な取組概要
飼養管理	宮城、宮崎、沖縄	発情発見機	県単独事業を活用した牛舎整備による繁殖性の向上、 発情発見機を活用した繁殖成績の向上
飼養管理	佐賀、宮崎、長崎	超早期離乳	超早期離乳による1年1産の達成 超早期離乳方式による地域内一貫経営の確立 省力化による飼養牛観察時間の確保、肉牛新生産システムへの取組
飼養管理	秋田、宮城、広島、高知、福岡、長崎	ほ乳ロボット	ほ乳ロボット活用により1年1産、子牛の事故率低減 フリーバーン方式による繁殖牛の省力管理とほ乳ロボットによる早期離乳
飼養管理	宮城、新潟、熊本、石川、富山	低コスト畜舎	和牛肥育経営におけるコスト削減への取組 F1を利用したETによる優良和牛子牛の生産 低コスト牛舎と自給飼料生産による生産性向上 離農跡地を利用した肉用牛経営
飼養管理	岩手、秋田、福島、栃木、茨城、千葉、山梨、富山、長野、愛知、奈良、福岡、大分、宮崎、鹿児島	飼養・繁殖指導	指導員等の指導助言による飼養環境、飼養管理の改善 適正飼養密度での飼養による飼料要求率の向上による肥育期間の短縮 枝肉成績向上に対する技術指導(給与飼料の計量と
飼養管理	青森、岩手、福島、栃木、茨城、千葉、山梨、京都、兵庫、山口、長崎、熊本	放牧 粗飼料多給型生産	耕作放棄地を活用した放牧の普及 スキー場を活用した放牧 粗飼料多給型子牛生産に対する技術指導 飼料用稲の現地栽培実証と給与実証 河川敷野草の集草量、給与量等の把握 地域資源(野菜残さ等)の利活用
飼養管理	広島、徳島、山口、長崎	受精卵移植	無角和種繁殖センターにおける、受精卵移植による素牛の確保及び繁殖雌牛の適正更新 ET技術を活用したF1牛1産取り肥育方式 透明帯石灰によるウシ低ランク胚の受胎率向上
飼養管理	岡山、長崎	組織化	地域内哺育・育成分担システム 子牛共同育成施設(キャトルセンター)の取組 肥育経営部会の共同活動による生産性向上
飼養管理	茨城	削蹄	牛床管理の徹底と全頭削蹄の実施
衛生	富山、滋賀、愛媛、長崎	衛生管理の徹底	新たな子牛衛生プログラムによるほ育・育成牛の事故軽減 適正飼養管理と下痢予防衛生対策による生産性向上
経営	奈良、福岡	ブランド化	大和牛のブランド化推進 (肥育農家、流通業者、販売店による「大和和牛流通推進協議会」の設立)

【養豚】

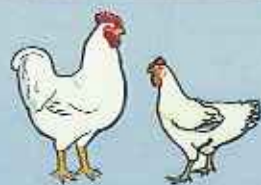
区分	都道府県	技術	主な取組概要
飼養管理	山形、茨城、栃木、千葉、新潟、長崎、鹿児島、沖縄、南九州	AI・AO	簡易豚舎設置によるオールインオールアウトシステムの導入 中小規模農家におけるスリーセブン生産方式への転換
衛生	青森、茨城、群馬、新潟、愛媛、宮崎	衛生管理の徹底	ワクチンプログラムと衛生管理体制の改善 繁殖・肥育のツーサイト方式等による衛生管理の徹底 AD清浄化 対策チームによる巡回 高位生産技術の確立、HACCPに基づく衛生管理、記録・記帳の徹底
飼養管理	青森、山形、茨城、群馬、長野、和歌山	地域資源の活用	特産農産物のエサ利用によるブランド豚の生産 エコフィード利用推進のためのネットワーク構築 高付加価値化
飼養管理	山形、福島、茨城、群馬、新潟、長野、石川、中国・四国管内、熊本、宮崎、沖縄、全農、全農南九州地区	飼養・繁殖管理の徹底	研修会、地域勉強会等の実施 農家への巡回指導等の実施 母豚・種雄豚の適正な管理・更新による産子数の向上 給餌器の工夫による飼料ロスの低減 看護分娩による事故率減少 人工授精の実施
飼養管理	秋田、全農	オートソーティングシステム	オートソーティングシステムによる省力管理
飼養管理	岩手、福岡、熊本	暑熱対策	暑熱対策による受胎率向上 (母豚頸部への水の滴下やビニルダクトによる冷気送風、種雄豚舎での冷気装置(ラジエータ)設置、人工授精カテーテルを深部注入カテーテルに変更)
飼養管理	中畜(愛媛県)	SPF	SPF豚飼育による有利販売、高度な飼養管理レベル
改良	愛知県	新システム導入	新たなシステムへの更新
経営	長崎県	農場総合診断	ピッグドックシステム(農場総合診断)による養豚農家の生産性向上 (飼養管理状況、ステージ別抗体検査、病性鑑定等を行い、問題点の抽出及び対策を検討し改善指導を実施)

【養鶏】

区分	都道府県	技術	主な取組概要
飼養管理	福岡県、全農	飼料の改善	多様な取組による安定した養鶏経営 (飼料の自己設計、衛生管理の徹底、自家育雛等) 商品化率向上のため、破卵の発生率低減を図る (換羽中・換羽後の飼料改善、卵殻強化のための飼料改善)
衛生管理	福島、愛知、滋賀、熊本	HACCP、作業マニュアル、自家育成	鶏卵生産段階での適切な飼養管理 (HACCP方式採用による衛生管理のマニュアル化、作業マニュアルの整備、初生雛からの自家育成、直売等) 呼吸器疾患の蔓延防止に対する指導 家保による消毒を中心とした衛生環境の改善 食検による食鳥検査成績のフィードバック
飼養管理	和歌山	地域資源の活用	エコフィードの利用推進、給与実証試験の実施
経営	福井県	直売所の設置、計画的な鶏の更新	直売所等での売上げ動向を考慮した飼養品種の変更
経営	奈良県	銘柄	大和肉鶏のブランド化推進 (マスコミを使ったPR活動、インターネット販売による流通促進、差別化)

生産者の皆様へ

家畜の生産性向上の



# 取組を強化



します

配合飼料価格が上昇し続けている今、皆様の家畜の飼養管理等を再度点検し、生産性の一層の向上に努めることが重要です。

このため、秋の収穫祭や感謝祭など、各種イベントの開催に合わせ、10月から12月までの期間を「生産性向上推進強化月間」と位置づけ、皆様の生産性を向上しようとする取組のお手伝いを強化します。

## ○「相談窓口」の対応、巡回点検の取組の強化

皆様がより気軽に飼養技術等に関する相談ができるよう、家畜市場やイベント等の開催に合わせ、「移動相談窓口」を設置したり、相談員が皆様を巡回し、ご相談を受け付ける活動を強化します。

## ○飼養技術検討会・勉強会等の集中開催

生産性向上にかかる飼養技術検討会や勉強会、見学会などを実施するとともに、優良事例を収集し、参考となる取組事例などをご紹介する機会を増やします。

※ 技術検討会や勉強会は、それぞれの地域ごとに計画されております。また、相談窓口は各都道府県ごとに設置されておりますので、参加を希望される方や相談窓口を利用したい方は、お近くの県畜産会等へお尋ねください。

社団法人 中央畜産会

# 全国さまざまな地域で家畜の生産性

## 乳用牛

### ○牛群検定成績の活用(9地域)

- ・淘汰基準の適正な設定による遺伝的能力の向上
- ・飼料の給与回数の増加と牛舎環境の管理による高乳量生産



### ○牛舎環境の改善(7地域)

- ・牛舎環境の改善(暑熱対策、カウコンフォート)による乳用牛のストレス軽減

### ○衛生管理の徹底(5地域)

- ・導入子牛の疾病予防策への取組
- ・乳房炎発生予防に対する技術指導

### ○飼養管理指導等の強化(14地域)

- ・研修会・地域勉強会等の開催
- ・定期的な巡回等による農家指導の実施
- ・低受胎率農家における繁殖性向上への指導
- ・血液検査データを活用した飼料給与量や飼養管理等の改善

## 養豚

### ○AI・AO(9地域)

#### (オールイン・オールアウト)

- ・簡易豚舎設置によるAI・AOシステムの導入
- ・スリーセブン方式の採用による子豚の事故率低減、発育の向上、衛生費の低減



### ○衛生管理の徹底(6地域)

- ・AD(オーエスキー病)の清浄化のため、各種検査や結果分析の実施
- ・ワクチン接種の徹底指導
- ・ワクチンプログラムと衛生管理体制の改善
- ・繁殖・肥育のツーサイト方式等による衛生管理の徹底
- ・HACCP手法に基づく衛生管理の導入

### ○地域資源の利活用(6地域)

- ・地域特産農産物の飼料利用によるブランド豚の生産
- ・エコフィードの利用推進のためのネットワークの構築

### ○飼養管理指導等の強化(13地域)

- ・研修会・地域勉強会等の開催
- ・定期的な巡回等による農家指導の実施
- ・給餌機の改善による飼料ロスの低減
- ・母豚・種雄豚の適正な管理・更新による産子数の向上
- ・看護分娩による事故率の低減
- ・人工授精の実施

詳しくは、社団法人中央畜産会のホームページをご覧ください。

# 司上の取り組みが行なわれています！

## 肉用牛

### ○早期離乳による1年1産(9地域)

- ・ほ乳ロボットによる早期離乳への取組
- ・超早期離乳技術の指導、資料等の配布
- ・早期離乳による繁殖成績、子牛発育の向上

### ○低コスト牛舎の利用(5地域)

- ・和牛肥育経営におけるコスト削減への取組
- ・パイプハウスでF1雌牛を利用したETIによる優良和牛子牛の生産
- ・電柱の廃材を利用した低コスト牛舎
- ・離農農家の跡地(牛舎等)を活用した規模拡大

### ○飼養管理指導等の強化(15地域)

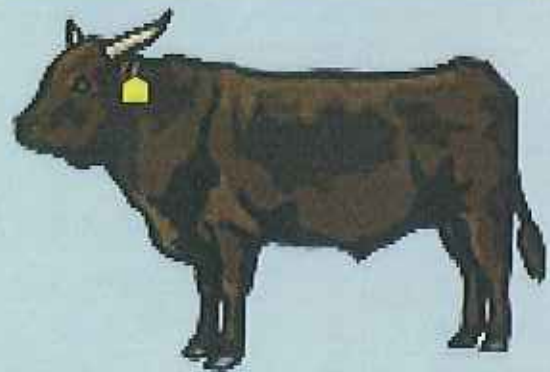
- ・飼養環境等の改善、指導、助言
- ・適正飼養密度で飼養することにより飼料要求率の向上を図り、肥育期間を短縮
- ・農業普及指導センター等の指導助言による飼養環境、管理の改善
- ・枝肉成績向上に向けた技術指導

### ○発情発見器の活用(3地域)

- ・1年1産の取組として発情発見器を活用し分娩期間の短縮

### ○放牧・粗飼料多給型生産(12地域)

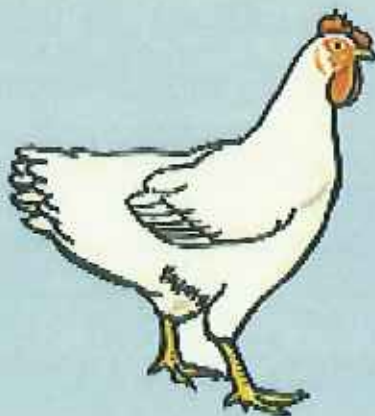
- ・耕作放棄地を活用した放牧管理
- ・飼料用稲の現地栽培と給与実証
- ・地域資源(野菜残さ等)の利活用
- ・河川敷野草の集草とその活用



## 養鶏

### ○飼料の改善(2地域)

- ・換羽中・換羽後の飼料改善による卵の商品化率の向上
- ・飼料改善により卵殻強化を図り破卵の発生率を低減
- ・飼料の自己設計



### ○衛生管理の徹底(4地域)

- ・HACCP手法の導入による衛生・飼養管理のマニュアル化
- ・消毒を中心とした衛生環境の改善、飼料給与・鶏舎設備の改善
- ・食鳥検査成績のフィードバック

### ○地域資源の利活用

- ・エコフィードの利用推進・給与実証試験の実施

※これらの事例は平成19年度における優良事例及び平成20年度地域ごとに取り組んでいる生産性向上にかかる事例です。

## お問い合わせ窓口一覧

お問い合わせや相談はお近くの県畜産会等へお気軽に

東京都の方は、中央畜産会までお問い合わせ下さい。

名称	電話番号	担当部署名
北海道酪農畜産協会	011-209-8555	経営支援部
青森県畜産協会	017-723-2775	草地支援部
岩手県畜産協会	019-694-1300	経営支援部
宮城県畜産協会	022-298-8473	経営支援課
	0220-21-1552	仙北事業所
	0229-34-3304	中央事業所
	0224-52-2523	仙南事業所
秋田県農業公社	018-884-5513	畜産経営部
山形県畜産協会	023-634-8108	経営支援課
福島県畜産振興協会	024-522-4222	経営・改良課
茨城県畜産協会	029-231-7501	指導部
栃木県畜産協会	028-664-3633	経営指導課
群馬県畜産協会	027-220-2365	経営支援部
埼玉県畜産会	048-536-5281	経営支援部
千葉県畜産協会	043-242-8299	経営支援課
神奈川県畜産会	045-761-4191	経営指導部
新潟県畜産協会	025-234-6781	支援業務課
富山県畜産振興協会	076-451-0117	畜産経営課
石川県畜産協会	076-258-2252	業務課
福井県畜産協会	0776-27-8228	—
山梨県畜産協会	055-222-4004	経営衛生指導課
長野県畜産会	026-228-8809	経営支援課
岐阜県畜産協会	058-273-9205	畜産指導部
静岡県畜産協会	054-274-0210	経営指導部
愛知県畜産協会	052-951-7477	経営指導課

名称	電話番号	担当部署名
三重県畜産協会	059-213-7512	経営指導課
滋賀県畜産振興協会	0748-33-4346	経営指導課
京都府畜産振興協会	075-681-4280	経営指導課
大阪府畜産会	06-6941-1351	経営指導部
兵庫県畜産協会	078-361-8141	経営支援部
奈良県畜産会	0742-23-4004	—
畜産協会わかやま	073-426-8133	支援業務係
鳥取県畜産推進機構	0857-21-2790	支援業務部
島根県畜産振興協会	0852-31-3609	経営指導部
岡山県畜産協会	086-222-8575	経営指導部
広島県畜産協会	082-244-1783	経営指導部
山口県畜産振興協会	083-973-2725	事業指導部
徳島県畜産協会	088-634-2680	企画総務課
香川県畜産協会	087-825-0284	企画管理部
愛媛県畜産協会	089-948-5365	企画振興部
高知県畜産会	088-883-8161	—
福岡県畜産協会	092-641-8723	経営指導部
佐賀県畜産協会	0952-24-7121	経営支援課
長崎県畜産協会	095-843-8825	経営指導課
熊本県畜産協会	096-365-8200	企画経営部
大分県畜産協会	097-545-6593	経営支援課
宮崎県畜産協会	0985-41-9303	経営支援部
鹿児島県畜産協会	099-258-5662	経営指導部
沖縄県畜産会	098-854-3480	総務課

## 社団法人 中央畜産会

東京都港区虎ノ門1丁目2番5号(虎ノ門17森ビル)

【リーフレットに関するお問い合わせ先】

TEL: 03-3581-6683 FAX: 03-5511-8205

URL: <http://jlia.lin.go.jp/> E-mail: [seisan@sec.lin.go.jp](mailto:seisan@sec.lin.go.jp)